

令和 6 年 3 月 13 日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核燃料・バックエンド研究開発部門
幌延深地層研究センター

地下施設の施設整備工程の更新について

幌延深地層研究センターでは、令和 5 年 4 月より地下施設の施設整備業務を開始し、深度 350m 調査坑道の拡張(令和 5 年 6 月 13 日開始)並びに深度 500m に向けた東立坑(令和 5 年 9 月 29 日開始)及び換気立坑(令和 6 年 2 月 12 日開始)の掘削を進めてきました。当該工事は地下の岩盤や地下水等の自然条件に応じて、適宜、工程や工事内容の変更を行い工事監理していきます。

今般、令和 5 年度の工事实績を反映し、令和 6 年度以降の工程を別紙のとおり更新することとしました。

なお、深度 500m 調査坑道掘削工事は予定通り令和 7 年度末に終了する見込みであり、施設整備完了時期に変更はないことから研究計画への影響は生じません。

以 上

地下施設の施設整備工程

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
350m調査坑道			
換気立坑			
東立坑			
西立坑			
500m調査坑道			

■これまでの工程(令和5年8月公表)、■実績及び更新後の工程(令和6年3月公表)

※ 掘削作業には段取りや設備等の準備期間を含みます(湧水抑制対策は含みません)。

※ 本工程は、今後も現場の進捗等に応じて適宜見直しを行います。

【 換気立坑 】

当初より1mで掘削を計画していたため変更はありません。

【 東立坑 】

1回の掘削長(1度に掘削しコンクリートを施工する長さ)を当初の1mから2mとすることで工程短縮を計画しましたが、実際の掘削工事において軽微な落石等が認められたことから、より一層の安全対策を優先することとし、1回の掘削長を1mに戻したため、4か月程度掘削期間が長くなりました。

【 西立坑 】

東立坑と同様に掘削長を2mとした工程短縮を計画しましたが、東立坑の実績を反映し1回の掘削長を1mに戻したことにより東立坑同様に掘削期間が長くなります。このため、掘削班の増強等による施工の効率化を図る計画ですが、なお2か月程度掘削期間が長くなりました。

【 500m調査坑道 】

立坑の500m到達が当初計画より遅くなることから、3か月程度着手時期が遅れることとなりました。このため、掘削班の増強等による施工の効率化を図る計画であり、完了時期に変更はありません。